

日本の大学教育・研究と学術情報：教育学分野を事例として

米澤彰純

東北大学国際戦略室

1. 日本の大学教育・研究と学術情報
 - 大学経営・サバイバルの課題としての「国際」「ワールドクラス」
 - 人文社会科学における英語圏の優位、定まらぬ非英語圏の位置づけとそこでの日本
 - 学際・文理融合の部局と研究評価
2. 学際分野としての教育学から視る学術と国際の今日
 - 教育学研究における国際化とは何か？大学院と学会それぞれの役割
 - 学術出版と評価、研究者・職業人としてのキャリア
 - 次世代研究者・専門職が身につけるべき成果発信とは？
3. 日本の教育学分野の学術出版のリアリティ
 - 英語での学術出版は、どこまで広がっているか？
 - 日本の教育学研究者にとってのオープン・アクセスと出版コスト負担
 - 問題の個別性・多様性と大学コミュニティ
4. ジャーナル問題に多元的・包摂的な視点を
 - 教育・研究の日常を豊かにする学術情報の創出と活用とは？
 - ゲーム・チェンジか、ゲームにしないか、あるいは・・・？
 - 研究第一、社会とともにある大学 engaged university への道筋

参照するサイト

- 東北大学 Pure: <https://tohoku.pure.elsevier.com/ja/>

※本発表は、科研費基盤研究(B)19H01621「教育学研究の国際展開の実態・構造・将来像に関する研究——学会の機能に注目して——」(研究代表者 米澤彰純)の成果です。